



議会だより



～躍動～
初打ち

Contents

平成30年度一般会計
補正予算を可決

2 12月定例会

5 委員会報告

10 いっぺん来てつか 議会報告会報告

12 12人が町の考え方を問う 一般質問

20 議会からこんにちは

平成30年12月定例会

開催期間 12月4日～14日（11日間）

一般会計補正予算（案）、後期高齢者医療特別会計補正予算（案）など12議案の審議を行い原案通り可決した。

議会運営委員会提出議案の「議会傍聴規則の一部改正について」原案

に同意し、まんのう

町外三ヶ市町山林

組合議会議員、まん

のう町外三ヶ市町

（七箇地区）山林組

合議会議員の選挙について指名推選

を行った。



小規模ため池の現地視察

平成30年度12月補正予算（概算）

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億1,400万円	117億1,100万円
特別会計	300万円	2億7,400万円

平成30年度12月補正の主な内容（一般会計）概算

事業名	目的別名	補正予算額
土地改良事業 (農道水路管理、小規模ため池防災特別対策)	農林水産業費	3800万円
土木災害復旧事業 (現年度道路橋梁、河川災害復旧)	災害復旧費	1600万円

12月定例会

専決処分

専決処分の報告

報告第1号

(給食費滞納等の請求事件)

給食費の滞納者に対し、督促等再三の納付指導を行うも履行がないため、支払督促の申し立てを平成30年9月20日付けで、裁判所におこなつたとの報告を受けた。

報告第2号

(給食費滞納等の請求事件)

給食費等の滞納者に対し、督促等再三の納付指導を行うも履行がないため、支払督促の申し立てを平成30年9月20日付けで、裁判所におこなつたとの報告を受けた。

議案第1号

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

一般職員の給与改定及び特別職の期末手当の引上げに準じて、期末手当率100分の5の引き上げ改定を行つた。

議案第2号

町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一
部改正

一般職員の給与改定に準じて、期末手当率100分の5の引き上げ改定を行つた。

議案第3号

町職員の給与に関する条例の一
部改正

平成30年度人事院勧告、香川県人事委員会勧告に基づいて、国家公務員や他の地方公共団体の職員との均衡等を考慮し、給料表および諸手当を改定した。

可原案

即決案件

町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

一般職員の給与改定に準じて、給料表の改定を行つた。

発委即決案件

発委第1号

(議会運営委員会提出)
町議会傍聴規則の一部改正

会議を傍聴しようとする者の住所氏名及び年齢の記入を傍聴人受付簿から傍聴人受付票に変更した。

可原案



個人情報に配慮

議案第4号

教育民生常任委員会付託

執行部に必要な書類の提出と詳細な説明を求め、慎重に審査を行つた。

議案第5号

町印鑑条例の一部改正

平成31年4月から開始予定の証明書コンビニ交付サービスにおいて、印鑑証明書の発行を行うため条例の一部を改正するものである。

議案第12号

平成30年度町後期高齢者医療特別会計補正予算

●所管課より主な説明

後期高齢者保険料の大半は年金から特別徴収しており、保険料が確定するまでは仮徴収とし、保険料が確定する7月に精算する。仮徴収が多かつた人は還付、少なかつた人は差額分を納付してもらう。亡くなられた場合は遺族の方から請求が出てこないケースも多く再通知している。年度を過ぎたものは、次年度の歳出予算から還付することになるため、還付金を計上するものである。

可原案

付託案件

建設経済常任委員会

●地籍調査 ●工場立地計画 ●農業就業 ●農業振興 ●公共事業 ●農林災害

現場視察



片岡東地区ほ場整備（県営中山間事業）

はせふきざこ
町道長谷吹砂古線(維持修繕)

◆11月15日、県営中山間総合整備事業「片岡東地区ほ場整備」・「追上地区集落道整備」の工事現場、小規模ため池防災対策特別事業「三宅下池」の現場、町道長谷吹砂古線の状況について現地視察を行った。

地籍調査

土地の表示に関する
登記情報を正確なものに

【委員】平成30年度の調査区の説明で4件の再立会の報告を受けたが、これは筆界未定なのか。

【地籍調査課長】筆界未定ではない。日程調整し再度、立会を行う事としている。

定住施策を

農業就業

【委員】農業就業を目的とする移住者には、アパート等の家賃が相当な負担になつていて、農業だけでは生活が苦しいことから

担い手が見つからない。この実態についてどのように思うか。

【農林課長】1次産業の場合家賃等の手当制度が未整備である。

借家であれば家賃も負担になり農業を続けたくても諦めざるを得ない現実もある。移住者の最終目的は経営者であり儲かる農業である。時間が必要で、経験や知識も必要であるため雇用者がどこまで指導できるか、また

一度に予算を増額し短期間で全てを完了する事は不可能であるが、今後の予算については調査補正で増額するのか。

道路整備工事の増額は

公共事業

要望であるが、農業以外にも色々な意見があつた。これらを取りまとめて何らかの機会にお知らせしたい。

【委員】先般の全員協議会で、企画観光課と農林課より、「吉野大宮地区における工場立地計画を進めていく」との報告や説明があつたが、工場誘致が中止になつた原因は何か。

【農林課長】立地希望企業が、土地の取得について事前調査をした時点では可能であると判断したがその後、地権者と用地取得の交渉をしたところ合意に至らなかつたため企業が計画を断念したためである。

意見聴取会の意見は

農業振興

【委員】土地利用型担い手農家からどのような意見が出たのか。

【農林課長】主に農業機械の補助事業関係や鳥獣害対策に関する

査定設計の場合、全額地元負担になる。町負担について調査検討する。

工場立地計画
中止を決定

【委員】先般の全員協議会で、企画観光課と農林課より、「吉野大宮地区における工場立地計画を進めていく」との報告や説明があつたが、工場誘致が中止になつた原因は何か。

【農林課長】立地希望企業が、土地の取得について事前調査をした時点では可能であると判断したがその後、地権者と用地取得の交渉をしたところ合意に至らなかつたため企業が計画を断念したためである。

農林災害
負担割合は妥当か

【建設土地改良課長】農林災害の査定設計の場合、全額地元負担

計は2分の1を町が負担するが査定設計の場合は全額地元が負担するのか。

教育民生常任委員会

●マイナンバーカード ●コンビニ交付 ●太陽光発電 ●まんのう町造田歯科診療所(琴南地区)

◆11月14日、特別養護老人ホームやすらぎ荘修繕の現地調査を行った。

●マイナンバーカード

●コンビニ交付

●太陽光発電

●まんのう町造田歯科診療所(琴南地区)

の普及率はいくらか。

マイナンバーカード

コンビニ交付に必要



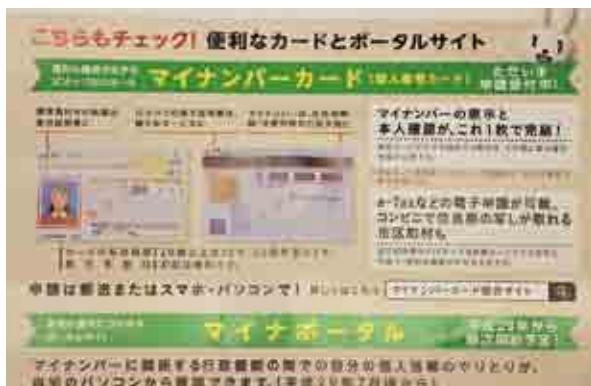
【委員】平成31年4月1日開始予定の戸籍、住民票、印鑑証明のコンビニ交付はマイナンバーカードの利用により交付が可能になるが、マイナンバーカードの普及率はいくらか。

【委員】コンビニ交付での手数料について、通常窓口の手数料と差は設けるのか。

【住民生活課長】手数料について

【同額の手数料を徴収】

【住民生活課長】本町の普及率については、平成30年10月末現在で、1439枚、人口比で7.7%である。



便利につながるマイナンバーカード



ロボットが迎えてくれる歯科診療所(コ・ン・ニ・チ・ハ)

太陽光発電

日照時間が不十分

まんのう町造田歯科診療所(琴南地区)

業務仕様書で詳細に

【委員】やすらぎ荘の冷暖房の燃料を重油から電気に変更するとことであるが、太陽光発電は設置しないのか。

【福祉保険課】やすらぎ荘は地形的に日照時間が短い場所にあるため、太陽光発電を設置しても十分に発電できないと思われる。

【委員】公設民営である歯科診療所の施設経費等について協定書があれば確認したい。

【琴南支所長】歯科診療所は業務委託であり、委託契約書の中の業務仕様書で細かい所を規定している。

総務常任委員会

●公共施設

●広報誌

●企業誘致

●太鼓台



広報誌
配布方法

【委員】 広報誌の配布方法で相当な経費がかかるのであれば、自治会に委託したらどうか。

【企画観光課長】 現在、自治会加入率約66%である。全戸配布を考えた場合、自治会にお願いするのは現時点では難しい。

業側は、多様な業種があるため、用地を調査し選定したい。

統廃合・再配置計画

公共施設

【委員】 公共施設の在り方にについて管理計画はあるが、今後どのような形で進めていくのか。



【総務課長】 町公共施設等総合管理計画では、建物で156施設あり、各施設の状況・見通し等を掲げている。財政的な面もあり、できるだけ早い期間に方向性を出したい。



企業誘致
工業団地

【委員】 誘致出来るような用地を2・3カ所、選定し確保できるようない計画を立ててはどうか。

【企画観光課長】 立地希望する企



かきくらべ参加数

太鼓台

【委員】 太鼓台かきくらべで、太鼓台の参加6台は当初の半分以下であるのだが今後も継続するのか。

【企画観光課長】 多くの太鼓台に参加をお願いしたいが、今以上に参加台数が少なくならないよう今後の実施方法について考えていく必要がある。



毎年10月に開催されている かきくらべ

平成30年 建設経済常任委員会

【日時】平成30年10月24日～26日
【場所】長野県安曇野市・長野県飯田市

そば栽培と町づくり・空間施設の役割 地域ぐるみの体験観光の展開



飯田市南信州観光公社より研修

支配人には旅行会社に勤務経験のある飯田市への移住者を抜擢。その後、農家民泊など地域の自然・歴史・食を活かした体験観光の取り組みを展開。現在、地域全体の交流人口も増加し「本物にこだわったプログラム」地域づくりの手法は全国から注目されるまでになっています。

飯田市は、水稲やリンゴ栽培が主の観光資源が乏しい通過型観光地でしたが、「本物の体験」や「体験教育」をコンセプトに平成8年にプロジェクトをスタートさせ、関係5市村や地元企業、団体の出資、事業協力のもとに（株）南信州観光公社を平成13年に設立しました。

飯田市は、水稲やリンゴ栽培が主の観光資源が乏しい通過型観光地でしたが、「本物の体験」や「体験教育」をコンセプトに平成8年にプロジェクトをスタートさせ、関係5市村や地元企業、団体の出資、事業協力のもとに（株）南信州観光公社を平成13年に設立しました。

安曇野市では、信州安曇野そばの里（三郷やすらぎ空間施設）の視察を行いました。来訪者と地元農家が交流を展開する中で地域の農業や農村の文化について理解を深めるとともに、地域の活性化を図ることを目的として移築古民家でレストランが営まれ、そばオーナー制度によるそば栽培農業体験事業が展開されていました。



安曇野そばの郷（築300年の古民家を移築）

平成30年 教育民生常任委員会

【日時】平成30年11月9日～10日
【場所】山口県周南市・長崎県大村市

官民共同で福祉相談窓口 医師会と共同で「まちなか保健室」

周南市は、平成15年徳山市など2市2町が合併して誕生。人口は14万人余りですが、面積はまんのう町の3倍余りあり山間部が7割を占める大きな町です。



まちなか保健室



介護体験もできます

31の地区社協に地域の高齢者等の見守り活動拠点「もやい地区ステーション」を設置し、地域福祉コディネーターを配置の上、訪問活動等を展開しています。民生委員など地域の見守り支え合いネットワークの調整役を主な役割としています。また、新聞配達、薬局、金融、運輸、交通関係等67社と協定を結び活動を支援してもらっています。

大村市では、空き店舗が目立つ商店街の百貨店を買取り、医師会が運営する在宅医療サポートセンターと市の地域包括支援センターが同居、協働運営する「まちなか保健室」を視察しました。長崎医療センターを核とした病院間の連携が大村市内で完結しているという恵まれた条件にあるものの、「ワンストップサービス」で適切なところへつながっていくシステム構築に市・医師会など関係機関が協働体制を組んでいるところに感心しました。

公共施設再配置計画 工業団地・企業誘致

周南市 大村市



大村市では工業団地の整備についてと企業誘致へのPR方法、絞り込みの基準など具体的に数字を挙げての研修を受けました。

公共施設の再配置、企業誘致など、難しい問題ですが、実情に合わせればまんのう町も取り入れられるものもありました。これからの課題です。

- ・周南市では公共施設の再配置について市の取り組み方を学びました。
- ・地域ごとに、地域にある施設をどのように再編・再配置していくか。
- ・優先的に対応すべき施設がある地域策定。
- ・策定には地域住民の方々と行政が一緒になって協働作業の3点を研修しました。

成功の方程式の解きかた



実践行動の三本柱

柏木講師からは、議会活性化への取り組み、議員報酬の検討、議会放送と広報、通年の会期制の導入など様々な議会改革の方針を学びました。

香川県町議会議員等研修会が行われ、まんのう町議会からは、町長、監査委員、事務局を含め19名が参加しました。

①講演：日本事業構想研究所より木村俊昭先生
『地域創生、成功の方程式はあるのか？』

②講演：徳島県那賀町議会より柏木岳氏
『どこの議会も変えられる！』

木村先生からは、地方創生と地域創生、『ひと育て』『まち育て』他、『五感六育』（知育、食育、木育、遊育、職育、健育）を学び自分のまち・地域は、どの分野の何處が弱いか、どこからを次世代に託すのかの対応策を勉強しました。

第13回議会報告会の開催



11月15日、16日に町内4会場において開催し、55名の住民の方にご参加いただきました。

ただき議会報告会(意見交換会)を開催いたしました。

今回も大勢の方から、町財政、農業補助金、災害復旧、高齢者福祉、公共交通、

六次産業化など町地域の課題について、要望、質問、意見を聞きました。各会場とも活発な意見交換をさせていただき、その中から、いくつかお伝えします。

また、皆さまからお聞きしたご意見等は全議員で共有し、今後の議会活動に活かしていきます。

なお、要望や質問につきましては、議会より執行部に伝え、執行部からの回答も一部ではありますが掲載いたします。

※当日の意見交換の内容については、まとめたものを各公民館に置いていますので、ご覧下さい。なお、次回からは、インターネット(まんのう町議会ホームページ)にて公開する予定です。



長炭公民館

ちゃんと耕作せんでも
補助金が出るんな

問 借りた農地をきちんと耕作せず、「すてづくり」状態などがある。法人化すれば、そのよう

な状態でも補助金が出るのか。

答 農地集積補助金は契約当初に支給され、以後、耕作と管理ができることが条件である。経営安

定所得対策など作物の補助金は、地域農業再生協議会が「すてづくり」で

契約期間が切れたら、
もとの状態にして
返さないがんやろ

問 貸借期間が切れたら、荒れた状態で返還している人がいる。きれいにして返す指導をしてほしい。

答 農業経営基盤強化法による利用権(貸借)の設定については、

期間満了時には原状回復(貸借開始時点程度の状態)して返還すること

になっている。農業委員会は、回復が不十分と判断すれば改善指導をして

(農林課)



琴南公民館



長炭公民館

秋祭りなどに参加すること
で、地域に愛着が
生まれるのでないんな

問 子どもたちが秋祭りなど地域の行事に参加できるように学校行事の配慮をお願いしたい。地域の行事に参加することによって地域への愛着が生まれる。

答 学校行事は地域の行事に配慮するが、同一校においても複数の地域の児童生徒が居り、すべての児童生徒の地域行事に配慮することは難しい。(学校教育課)



高齢者緊急連絡先

一人暮らしの高齢者に、
何があつた時に
どこへ連絡したらえんな



満濃農改センター

問 高齢・独居世帯が増えており、
何かあつた時にかけつけても
親類の連絡先も分からず困ることが
よくある。民生委員、社会福祉協議会、
町役場などいろいろ考えられるがま
すどうに連絡すれば良いのか。

答 様々なケースがあると思うが、
まず、まんのう町地域包括支援
センター（☎73-0125）に連絡
をお願いしたい。（福祉保険課）



満濃改センター

民間のブロック塹やつて
危ないとあるで

問 町の施設のブロック塹は対策
してくれたが、通学路をはじ
め民間の塹も危険な個所がある。

答 議会としても住民の安全のた
め、災害時の避難経路の確保
のためにも対策が必要だと考える。
所管する委員会の中でも話し合つ
ていきたい。



仲南公民館

防災

議会に対するご意見

問 議会報告会の内容を公開して
ほしい。ホームページでの公開
でも良いから実現できないか。

答 公開の是非、方法・費用など
を、議員間で協議中です。

問 議員定数を削減して報酬を上
げれば、若い人が議員に立候補
してくれるのでないか。

答 全国的な課題です。現在の議
員報酬では、育児中のなど若
い人にとって立候補が厳しいと
認識しています。過去に議会で
も何名が適切か、いろいろな意
見があり、平成29年3月、現在
の16名が適切との判断をしまし
た。

議会報告会（意見交換会）に
お忙しい中ご参加いただいた皆
さん、大変ありがとうございます。

問 四国新聞に掲載されたような
固定資産税の過誤徴収は他に
ないのか。

答 税務課より現時点の調査では
同様の過誤徴収はないと聞い
ている。

議員名	質問内容	関連ページ
たけばやし 竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> 新年度予算の編成のために、平成29年度末の財政の評価を問う 町の公共施設総合管理計画の内容の説明を求める 法令遵守（コンプライアンス）の本町の課題を問い合わせ、組織内部統制の方針の説明を求める 	P13
かわにし まきこ 川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えた感染症対策（ロタウイルス・高齢者肺炎球菌） 琴電イルカ70歳以上半額実施について 	P13
きょうかね 京兼 愛子	<ul style="list-style-type: none"> 観光による集客づくりについて 誰もが安心・快適に住めるまちづくりについて 	P14
まつした 松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策について 県道、長尾丸亀線について 	P14
つねかね 常包 恵	<ul style="list-style-type: none"> 町民主権のまちづくりについて 適正な課の配置及び人員配置について 決算から予算編成へ 	P15
みよし 三好 郁雄	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の内容を考え直しては 周囲の環境をどのように考えているのか 	P15
しらかわ 白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> 合併から12年が過ぎ、町民のより一層の融和のために まんのう町のひまわりを知ってもらうために 	P16
ごうだ 合田 正夫	<ul style="list-style-type: none"> 来年度予算について イノシシ対策 	P16
すずき 鈴木 崇容	<ul style="list-style-type: none"> 防災…災害時の避難場所の見直し 今後のまんのう町の公共施設運営について 	P17
かわはら 川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興について 自治会と自主防災について 	P17
こやま 小山 直樹	<ul style="list-style-type: none"> 国保、介護保険、後期高齢者保険の負担軽減について 住宅リフォーム、店舗リニューアル助成制度の創設について 農林業の振興策について 	P18
おおにし 大西 豊	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農を積極的に推進 町の指定管理者について 	P18

議員
↓
町長・教育長

12月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。
議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に
掲載していますので、ご覧ください。

議員が町の考え方を問う



川西米希子 議員

災害時の備え

問 災害に備えた感染症対策・ワクチン接種を問う

答 災害時に迅速かつ適切に医療救護活動できるよう広域で訓練を行っている

川西 災害時は衛生環境が悪化しやすく過去の災害においてもたびたび感染症の流行が起きている。特に抵抗力の弱い高齢者や乳児はワクチン接種による感染症の防止が必要であると思う①災害時に感染症対策および集団発生時の対応策。②高齢者肺炎球菌ワクチン接種。③乳児のロタウイルスワクチン接種についてどのようにお考えか。

町長 ①本町でも感染症まん延防止のために災害時救急用品の備蓄をしている。町で対応しきれない場合は、県に医療救護チームの派遣を要請するなど関係機関と連携し対応していきたい。②高齢者肺炎球菌ワクチンは本年度の対象者で未接種者には再勧奨を実施する。未接種者への救済措置については今後の国の動向を踏まえて検討したい。③乳児のロタウイルスワクチン接種については、香川県町村会を通して国へ定期接種化を要望している。

移動手段の確保 支援策

問 高齢者の電車運賃半額制度の導入 (ICカードイルカ)

答 広域的に恩恵を受け他の公共交通施策と効率的に連携し効果をあげることができるかを分析する

川西 高齢者の免許返納推進には更なる支援が必要。高松市、綾川町では(ICカードイルカ)による電車運賃半額制度を導入している。琴電沿線を有する本町においても高齢者の移動手段の支援等のため導入を考えてはどうか。高齢化の進展に伴い持続可能な交通網の充実を更に図っていただきたい。

町長 移動手段の確保と各交通機関への連携は現在、最重要課題となっている。全国では非常に多くの参考になる事例があるので今後、調査研究し交通網の充実を図っていただきたい。

町財政

問 財政に政策裁量の余裕はあるか
答 極めて健全だ

竹林 前年度決算評価を「財政健全化指標」の推移により説明を求める。

町長 実赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は黒字か、マイナスで健全である。起債の償還負担を見る「実質公債比率」は、合併当初の15.8%から7.0%と、半減である。「招来負担比率」は、平成26年度からマイナスになった。極めて健全であるが、合併特例措置の終了に備えたい。

竹林 基金残高の適正基準を問う。

町長 基金総額は72億5千万円ある。財政調整基金は本町は約30億円の手持ちがあるが、6億7千万円から13億4千万が標準財政規模に照らすと適正である。

竹林 地方債残高の内で、本町が実質的に支払うのはいくらか。

町長 126億円あるが、元利償還金を地方交付税で補填されるのが101億円あり、約25億円を負担する。

竹林 貯めたお金で公共インフラを整備してはならぬ。出来た後で利用する住民が償還を分担するのが、財政運用の原則だ。貯めた時の住民は居なくなることもある。

町長 十分に検討したい。

竹林 「歳入はその年の住民のために使う。」のが理想であり、無闇に積み上げてはならぬ。地方から中央に集められる資金を積極的に調達して、本町に最大限還流させねばならぬ。施策研究と事業調査して、効果的な使い方の探求を求める。

資金調達を
積極的に
してほしい。



竹林 昌秀 議員

空き家を
有効に使うには
どうすれば…。



空き家増加

問 迷惑空き家の撤去を

答 専門家とも相談し、すすめたい

松下 本町には、現在780軒余の空き家があり、将来はさらに増えると思われる。火災等により放置され周辺に悪影響を及ぼしているもの等は、空き家対策支援制度で撤去できないか。今後の空き家の利活用はどう考えている。

町長 老朽危険空き家除去支援事業は、国、県の基準を満たせば交付され、補助金総額が160万円（国80万、県40万、町40万）である。当事業は29年度から実施している。29年度は1軒実施し、30年度は1軒の予定である。放置された空き家の撤去は、法的専門家の意見も聞きながら検討を行っていきたい。空き家の有効活用は、不動産関係業者等と協議をして「空き家等情報登録制度」が円滑に活用できるよう努めていきたい。

県道長尾丸亀線

問 早急に木の伐採を

答 県に要望する

松下 なまず 魚念岩付近は、歩道も無く大木により見通しも悪い。この付近は、急カーブが多く、車や歩行者、自転車にとって危険であり、過去には数件の重大事故も発生している。昨年6月定例会で整備を要望し、少しは改善されたが誰もが安心して通行できる歩道の設置、木の伐採等のさらなる整備を強く望む。

町長 昨年10月、側溝部分をガッターに変更、転落防護のガードレールを設置するなど改善はおこなった。今後県に対し、さらに未整備区域の事業化を要望していく。



なまず
魚念岩付近（見通しが悪い大木の伐採）

観光マップ

問 観光マップの作成状況は

答 幅広い年齢層に観光情報の発信

京兼 観光資源の強化を進め、地域活性化につなげるため、観光マップの見直し状況、配布場所や利用方法を問う。

町長 昨年末に町内全域、町内の29ヶ所の観光施設や見どころ、文化財などを説明した広域マップを作成し、役場をはじめ道の駅や観光協会に置いている。また、近隣のJR各駅に置き公共交通機関で移動する観光客にも手にとって活用してもらっている。



路線バス

問 琴電羽間駅に停留所新設を

答 巡回型路線バスに変更して可能に

京兼 琴電羽間駅の電車利用者の大半は、自動車使用の方である。誰もが駅を利用できるように路線バス停留所の新設を要望する。

町長 琴参バス炭所線が来年度から町単独補助の路線になることから同バスと町が合意できれば運行経路の自由度が大きく広がることになる。現在琴参バス側と特に採算性の低い日中の運行の路線について路線を変更し、巡回型へ変更できないかなど協議を行なっている。関係機関の意見等を頂きながら住民の皆さんにとって利用しやすい公共交通網を構築していきたい。



羽間駅駐車場

羽間駅を
にぎわいの
場に…。



京兼 愛子 議員



三好 郁雄 議員

福祉タクシー券

問 内容の見直し

答 複合的に考えていきたい

三好 ①病院までの移動距離は地域により大きく異なる。配布するタクシー券の枚数を調整するなどして運賃負担の格差を解消できないか。デマンドタクシー以外の方法も考えはどうか。

②現在は医療機関への通院にしか利用できないが、買い物など他の目的でも利用できるようにできないか。

町長 ①高齢化による交通弱者が増えていく中で、このような事業の必要性は高くなっている。財政的な負担も考慮して、利用者やタクシー事業者の意見も聞きながら今後の在り方等について慎重に判断したい。②通院以外にも買い物支援対策等が必要であることは十分認識している。他の支援制度と合わせて複合的に考えていきたい。



周辺環境

問 浸出水による生活への影響はないか

答 水質検査が義務付けられている

三好 隣町に設置されている廃棄物最終処分場は焼却灰等が埋め立てられその上に花こう岩を乗せる、その繰り返しで現在は巨大な山になっている。水は高いところから低い所に流れるため最終処分場からの浸出水がわが町の住民生活に悪影響を及ぼしていることはないか。

町長 香川県知事の許可を得て施設を設置していること、また立ち入り検査を受けていることからその基準に沿った方法により埋め立てていると思われる。埋立地からの浸出水による地下水の水質への影響については水質検査を実施することが義務付けられているため同施設においても水質検査が行われその結果がホームページにおいて公表されている。隣接町として検査結果を注視していきたい。

町民協働のまちづくり=子どもは町の宝もの=

問 審議会委員に女性の一層の参加を 答 男女比率の不均衡解消を目指す

常包 町民との協働でまちづくり、計画作りには町民の自主的な参加（公募）、女性の一層の参加が必要。情報提供の一つとしてのホームページ改修計画は。

町長 公募制度の導入・条例化について、制定自治体の状況を調査研究する。審議会の女性比率の不均衡解消を目指す。現在のホームページは10年経過し新鮮味に欠けているので、今年度内に更新予定。行政情報もできるだけ公開していく。

問 課・職員数は適正か

答 類似団体と比べて町全体の職員数は適正

常包 正規職員、臨時職員数は適正か。近隣市町のように、正規職員で高卒者、障害者採用を。

町長 正規職員 217 名、臨時職員 293 名で類似団体と比べて町全体の職員数は適正。臨時職員は特に教育関係に多い。過去には初級職も採用していた。町の将来を担う人材確保に向けて、他自治体の採用状況を参考に募集要項を決定する。

問 自校方式でおいしい給食継続、体制整備を

答 安全でおいしい給食提供は教委の責務

常包 地産地消、食育等の観点から自校方式を継続するとともにその体制整備を。

教育長 自校方式であるため、子どもたちは調理員の顔を見、調理の匂いを楽しみ、温かい昼ごはんを食べられる。安全でおいしい給食の提供が教育委員会としての責務である。



町長 給食調理業務は調理だけでなく食材の発注、衛生管理、アレルギー児への対応など多岐にわたっている。調理員の確保に苦労しているのが現状である。



常包 恵 議員

調理員の採用を早く…。

予算の有効
活用をせねば。



合田 正夫 議員

来年度予算編成

問 消費税が増額になる前に
より多くの予算執行を
答 なるべく前倒しでの
予算執行を考えている

合田 町内には早期に修繕しなければならない道路などが多数ある。平成31年10月より消費税が10%になる予定であることから早期発注を心掛け、なるべく前倒しでの予算執行をおこなうべきではないか。

町長 平成28年度から平成30年度までの3年間においては、重点施策分として道路などの維持補修費に平成27年度当初予算ベースに毎年5千万円の上乗せを実施してきた。平成31年度予算においては、まだ早期に修繕しなければならない箇所があることなどから継続して予算確保を計画している。消費税が10%になるまでに早期発注を心掛けなるべく前倒しでの予算執行を考えている。

イノシシ対策

問 粉碎機械の導入を
答 燃却処分を継続したい

合田 イノシシを止め刺し後、2、3時間すれば寄生しているダニが相当数でてくる。速やかで、確実な処理が必要である。対策をどのように考えているのか。

町長 粉碎機は減容化装置、脱臭装置、冷凍庫、その他を合わせて約2.000万円で、故障した時の修繕費用は予想以上に高いとも聞いている。本町は、原則として捕獲地周辺に埋設処理をお願いしている。現在の燃却施設で処理可能な間は燃却処分を継続したい。土日にについては今後考える。



住民を困らすイノシシ

消防団

問 自衛と公設を統合しては
答 統合ではなく役割分担、連携を図る

白川 近年の異常気象による災害、東南海地震などがあり、消防団の活躍に期待することが多くなる。有事の際はいち早く対処しなければなりません。自衛とか公設とかの区別するのではなく命令系統は一つの方がいいのではないか、統合する考えはあるか。

町長 公設消防団は、消防組織法に基づき、国民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から防除し、及び被害を軽減することを目的にしている。身分も



公設消防団の放水訓練（仲南地区）

地方公務員法や条例により補償や処分を受けるようになる。自衛消防団は、地域住民の自主的な防災活動の為に組織されている。町は組織の結成や育成強化に対して補助金を交付し支援している。それぞれの組織が役割分担、連携をとりながら地域の防災に努めている。

ひまわりグッズ

問 町のひまわりオイルを知ってもらうために
答 PR促進グッズは十分に整っていない

白川 町のひまわりを広く知ってもらい、町が力を注いでいるひまわりオイルの販売が増えるようなグッズを考えてはどうか。

町長 町の公式イメージキャラクターである「まんテンちゃん」を使ってぬいぐるみや缶バッジ、クリアファイルやメモ帳などのひまわり関連グッズなどで認知度を高めたい。

ひまわりオイル
をもっと知
って
ほしいな…。



白川 正樹 議員



町の農業を
盛り上げたい…。

川原 茂行 議員

農業振興

問 農業に特化した専従班を
答 検討したい

川原 まんのう町の農業の将来を見るときには、ほ場整備・満濃池からのパイプ配管をセットに考えなければいけない。

準備段階で、町の再任雇用を含めた専従班を作るお気持ちはあるか。話を5、6年前にしたことがあるが、そのときは、町長「つくる気持ちはない」と断わったが、これから先の情勢を考えたときに、どうしても必要だと思う。

そこで再度伺いたい。町長は専従班をつくる気持ちはあるか。

町長 今のまんのうの農業、ほ場整備・パイプ配管を考えた場合、ほ場整備は必要不可欠だと思う。今から、いろんな角度から調査し、専従班を作ることを検討したい。



パイプ配管が整った田んぼ

防災

問 災害時の避難場所の見直し
答 避難場所、建物の耐震性等、
適切な対応をしたい

鈴木 場所によると避難場所自体が土砂被害にあう可能性がある所、建物自体の耐震補強ができていない所があり、防災訓練通りに住民の方が避難してきても避難場所が災害、被害の危険性がある為、本当に避難場所が安全かどうかを今一度確認していただき、安全でなければ別の場所に変える、お考えがあるのかご教示ください。

町長 避難所や施設の地理的立地条件や構造の全てがあらゆる災害に対応しているわけではないため、避難所開設に当たっては、災害の種別、状況に応じて、被災が想定される避難所は開設せず、その他の施設へ避難をしていただくよう適切な対応を図る。

まんのう町公共施設運営

問 個別計画策定に向けて取り組みを
答 様々な課題を解決し
将来のまちづくりを進める

鈴木 まんのう町公共施設等総合管理計画の中に普通会計で11億2千万円の財源不足と書いている。不足が多額なうえ、公共施設も156ヶ所もあり今後、統廃合を考えているのか、具体的な実施計画を早めに立て委員会などをたちあげて深刻に考える事が大事だと思う。

町長 多額の費用を要する公共施設等については全て現状のまま保有し続けるのではなく、長期的な視野に立って、人口推計や住民ニーズの変化を見据えた統廃合や適正規模を検討する。



必要な
ものは活用。
ムダは廃止。

鈴木 崇容 議員



農業振興が
重要課題だ。

大西 豊 議員

集落営農

問 高齢化社会における 持続可能な農業を

答 集落営農法人の確保や
育成に取り組む

大西 町の基幹産業は農業。農業の振興が重要課題。政府に於いても、TPP農業対策として国産農産物の強化による食糧の安定供給、自給率向上、農家の減収を補填する保険制度、集落営農の推進、即ち高齢化社会における持続可能な農業をめざし取り組んでいる。この集落営農は農業機械導入助成や機械の共同利用によりコストを抑え農地の集積と計画的な作付が効率的な作業に繋がり、集落内の女性や高齢者の知恵、そして様々な職業の専門的知識や技術を活用することで協働作業が集落の絆を深める等、多くのメリットがある。今後、香川県中讃農業改良普及センターとJA、香川県農地機構との連携強化が急務だ。

町長 町内に設立された集落営農法人は、現在10の集落営農法人が活動、徐々に組織化が進展、毎年増加しており、このような中、遊休農地の発生防止や農地の集積を促進し農業の持続的な発展を図るために、認定農業者や新規農業者などの担い手のほかに、集落営農法人の確保が必要、香川県農業改良普及センター、農地機構、JAが中心になり、町農林課共に組織化に向け必要な助言指導を集落に出向いて、行っており今後も可能な限り支援を行い強力に推進する。



集落営農で取り組んでいる麦畠

国保・介護保険・後期高齢者保険

問 保険料が高く負担が大き過ぎる、 町独自の補助をすべき

答 負担感が大きいことを理解している。
関係機関へ強力に働きかける。

小山 町民のいのちと暮らしを守る『最後の砦』として、高過ぎる保険料の軽減策として町独自の補助をすべきだ。高齢者は特に負担が大き過ぎる。どの保険料も上がり続けている。

町長 保険料が上昇傾向にあることは全国的な課題であり、保険者が連携して国・県など関係機関への要望を行っているが、今後も要望活動を継続していきたい。

住宅リフォーム助成

問 町内業者の景気対策は 住宅リフォーム助成制度や 店舗リニューアル助成制度だ

答 色々な助成制度がある。
それらを活用してほしい。

小山 町内の消費購買力の拡大こそ生活向上に直結する施策だ。隣の琴平町、善通寺市、三豊市などはすでに制度がある。善通寺市では危険なブロック塀の撤去にも補助金が出ている。

町長 住宅に関する補助は現在でもいろいろある。店舗の補助については要望は少ないと聞いていている。

農林業の振興

問 再生産が可能になる助成制度を 考えないと衰退は進む

答 国や県の施策をすすめて行く

小山 「企業が一番活躍できる国づくり」を標榜する国の農政は、食料の安全保障を放棄して自給率を低下させ、日本農業の基本である家族農業を非効率と切り捨て、農村の役割を軽視し再生産できなくしてきた。町政が守るべきだ。

町長 国や県がすすめている農業・林業政策を町民目線ですすめて行く。

保険料が
高すぎる…。



小山 直樹 議員

町議会へ行ってみよう！

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、
告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ

☎0877-73-0109



次の定例会は
3月に
開催予定です。



まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>



成 人 式

町民のみなさん
取材にご協力ありがとうございます。



町老連仲南地区スポーツ大会

取材の足跡



公設消防団出初式(新入団員紹介)



絵手紙づくり(高篠ひばり会)



まんのう町四条地区 母子愛育会の活動

～地域への思いを胸に～



～美味しいゲンコツ飴づくり～

さすがに10年間、毎年作って下さっているだけあってすばらしい手際の良さでした。

「今年もとても美味しいゲンコツ飴が出来ました」と嬉しそうに話してくださいました。

文化祭の当日の飴を手にした子どもたちや地域の方々の笑顔が目に浮かんできます。業のようすを取材させていただきました。

11月9日(金)、四条公民館にて、朝早くから館長さんと、四条地区母子愛育会の10名の方がゲンコツ飴作りをされました。11月11日(日)の第19回四条公民館祭りに来場してくださる方にお配りするため、小袋詰めにし400袋を用意することでした。



あとがき

編集委員 京兼 愛子

平成最後の新年となり、五月には新たな元号となります。委員一同、元号と同様に新たなる気持ちで広報誌の編集に取り組み、町民の皆様に愛読される「議会だより」になるよう、努力してまいります。



委員会委員会 委員長 副委員長
員員員員員員
常京兼川西米希愛惠子
委員会委員会 委員長 副委員長
員員員員員員
常京兼川西米希愛惠子
議会広報特別委員会

今号の表紙
「初打ち」
讃岐まんのう太鼓
保存会

平成31年のスタート、1月6日、町内外のイベントで活躍している「讃岐まんのう太鼓保存会」の初打ち。日の出は見られませんでしたが、寒さを吹きとばすエネルギーに圧倒。



打ち手を募集しています

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109まで



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

皆様のご意見をお聞かせください。mail: gikai@town.manno.lg.jp